

當麻小学校附属幼稚園

取組概要

【効果】

- ・保育者自身が自然に対して常に意識をもち、身近なものとして取り入れ、様々な保育の場面で自然素材を活かしている姿が多く見られるようになった。
- ・子どもたち自身も積極的に自然に関わるようになり、それぞれの気づきや発見などを自分なりの方法でなかまや保育者に伝えたり、表現したりしようとする姿が見られるようになった。
- ・地域の方々にご協力いただき、これまで体験できなかったこと（脱穀等）に挑戦することができた。このことにより、子どもたちの興味・関心がより深まり、稲作りへの探究心が芽生え、栽培活動等最後までやり終えたときには、達成感も味わうことができた。



春を見つけよう



夏野菜の苗植え



當麻小学校附属幼稚園

カエルと遊ぼう



どろんこ遊び



イチゴの苗植え



【内容】

- ①泥んこ遊び・・・砂・水・泥の感触を十分味わい遊んだ。
- ②収穫・・・園庭のサクランボ、びわ、ブドウ、柿の収穫や、子どもたちが栽培したそら豆、イチゴ、夏野菜やさつまいも等を収穫した。
- ③色水遊び・・・パンジー、ビオラ、チューリップ、アサガオの花や草などで色水を作り、ごっこ遊びを楽しんだ。
- ④アゲハ蝶、カブトムシ等の飼育・・・幼虫から育てたアゲハ蝶やカブトムシが羽化したり、成虫になる様子を観察し、最後には子どもたちが話し合い、身近な自然環境のなかに戻してやることを選んだ。このことは、命の大切さについて考える機会となった。
- ⑤木の葉・木の実で遊ぶ・・・子どもたちが園庭や登園・降園中の通園路等で集めたイチョウ・紅葉の葉やどんぐり、まつぼっくりや椎の実等を観察したり、図鑑で調べたりした。また、制作や遊びに活用して楽しく遊んだ。
- ⑥一人一株稲作り・・・子どもたちは初めて土作りから稲の脱穀までを体験した。自分の稲を育てる経験を通して、責任感ややりぬく力が育まれた。収穫後のおにぎりパーティでは、半年にわたって米作りを支えていただいた地域の方々への感謝の気持ちと、収穫まで自分たちでやり終えたという達成感を味わった。



當麻小学校附属幼稚園

氷づくり



芋ほり



一人一人一株米作り

